

FLAGSHIP MANAGEMENT

NEWS LETTER

2026

2

vol.106



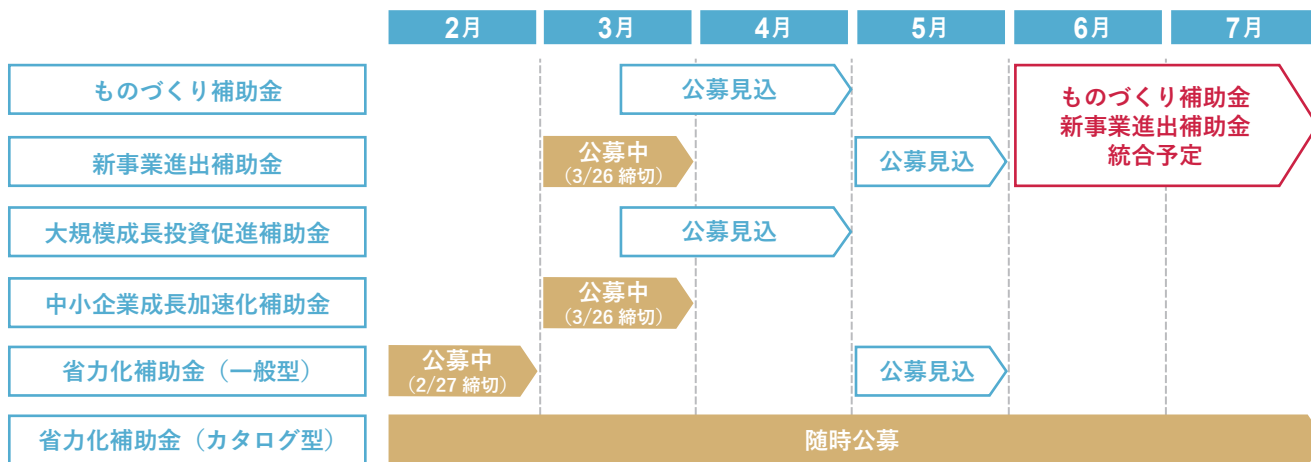
CONTENTS

- ✓ 主な補助金と公募スケジュール
- ✓ 自治体の補助金公募情報
- ✓ 補助金コラム
- ✓ 今日も視界良好

支援内容・政策のご案内

■ 主な補助金と公募スケジュール

補助金を活用し設備投資をする際は設備投資のタイミングと補助金の公募スケジュールが合致していることが非常に重要です。



内容		補助上限	補助率
ものづくり補助金	革新的な製品・サービス等の開発に必要な設備投資等を支援	2,500 万円（製品・サービス高付加価値化枠）、 3,000 万円（グローバル枠）	1/2 ～ 2/3
新事業進出補助金	既存事業とは異なる新市場・高付加価値産業への新規参入にかかる設備投資等を支援	7,000 万円	1/2 ※最低投資額：750 万円
大規模成長投資促進補助金	10 億円以上の大規模投資と積極的な賃上げを支援	50 億円	1/3 ※補助金額下限：10 億円
中小企業成長加速化補助金	売上高 100 億円超を目指すための工場増設、設備投資など大規模な投資を支援	5 億円	1/2 ※最低投資額：1 億円
省力化補助金（一般型）	個別の現場の設備や事業内容に合わせたオーダーメイド型の省力化投資を支援	8,000 万円	1/2 ～ 2/3
省力化補助金（カタログ型）	人手不足解消に効果がある汎用製品の設備投資を支援	1,000 万円	1/2

※スケジュールは当社予測を含みます。また、各公募情報は 2026 年 1 月 19 日時点の情報のため、公募開始時に変更となる可能性がございます。

■ 自治体の補助金公募情報

予算情報が出次第、来年度の補助金情報をお伝えいたします。
補助金を活用した設備投資をご検討の際は、お気軽にお問い合わせください。

東京都 | 事業環境変化に対応した経営基盤強化事業

残り
1回

公募中

経営基盤の強化に向けた既存事業の「深化」または「発展」に取り組む設備投資を支援

補助上限 800 万円 補助率 2/3 公募スケジュール 第 6 回 3 月 13 日



※スケジュールは当社予測を含みます。各公募情報は 2026 年 1 月 19 日時点の情報のため、公募開始時に変更となる可能性がございます。

予算情報が出次第、来年度の補助金情報をお伝えしていきます。
補助金を活用した設備投資をご検討の際は お気軽にお問い合わせください。





新事業進出補助金 — 3次公募が実質ラストチャンスになる可能性 —

田邊 綿華奈

最大補助額 9,000 万円を誇る「新事業進出補助金」。他の補助金では対象外になりやすい建物費（改修等）を含めた大規模投資を支援する、まさに「事業の多角化を実現する」のための強力な制度です。

一方で、今後はものづくり補助金等との整理・再編が進む可能性が指摘されており、現行制度のまま活用できる機会は限られていると考えられます。

実際、2025 年度の 3 次公募（3 月 26 日締切）をもって、現行スキームでの公募が一区切りとなる可能性もあり、「検討中」で終わらせるには惜しい制度と言えるでしょう。


新事業進出補助金は、新事業の立ち上げに伴う大型設備投資や建物投資を前提とする企業にとって、他制度では補いきれない支援内容を持つ補助金です。制度の位置づけが大きく変わる可能性がある今のタイミングで、自社の構想が該当するか照らし合わせてみる価値があります。

該当するかどうかの整理や制度との適合性確認については、当社までお気軽にご相談ください。

新事業進出補助金・ものづくり補助金

中小企業等が行う、技術的革新性のある製品・サービスの開発や既存事業とは異なる新市場・高付加価値事業への進出、海外進出（輸出）に向けた国内の輸出体制の強化に係る設備投資等を支援する。

「ものづくり商業サービス省力化・革新的開発・新事業・海外展開促進事業 2,960 億円」
（中小企業等事業再構築促進基金を活用 令和 7 年に再編）



枠・類型	補助上限 ※() 内は大幅賃上げを行う場合	補助率
革新的新製品・サービス枠	5 人以下：750 万円（850 万円） 6~20 人：1,000 万円（1,250 万円） 21~50 人：1,500 万円（2,500 万円） 51 人以上：2,500 万円（3,500 万円）	1/2、小規模・再生 2/3 ※最低賃金引上げ特例：補助率を 2/3 に引上げ（小規模・再生事業者は除く）
新事業進出枠	20 人以下：2,500 万円（3,000 万円） 21~50 人：4,000 万円（5,000 万円） 51~100 人：5,500 万円（7,000 万円） 101 人以上：7,000 万円（9,000 万円）	1/2 ※最低賃金引上げ特例：補助率を 2/3 に引上げ
グローバル枠		2/3



省力化補助金の公募内容に変更があります！

平石 優希

省力化補助金（一般型）の第 4 回公募と、締切間近の第 5 回公募での主な変更点を比較します。第 6 回公募に全て引き継がれるとは限りませんが、過去の公募要領をご存じの方は、公募内容が少しずつ変化している点にご注意ください。

変更点	第 4 回公募	第 5 回公募
従業員 0 人の場合の申請可否	従業員を雇っていないでも申請可能	従業員が 0 人の場合申請要件を満たさないため申請不可 ※パート・アルバイトは従業員としてカウント可能
賃上げ要件	事業計画期間終了年において、役員・従業員合算の給与支給総額を年平均 2.0% 以上増加することが必要	事業計画期間終了年において、従業員の「1 人当たり給与支給総額」を年平均成長率 3.5% 以上増加させることが要件
補助率	【中小企業】 1/2 （補助額 1,500 万円超部分は 1/3） 【小規模企業者・小規模事業者・再生事業者】 2/3 （補助額 1,500 万円超部分は 1/3）	★一定額からの補助率変更（1/3）が撤廃 【中小企業】 1/2 【小規模企業者・小規模事業者・再生事業者】 2/3

詳しく内容を知りたい方は、お気軽に当社へご連絡ください。

コンさる君の 今日も視界良好

⑤「自分自身をアップデート」 代表取締役 長尾 康行（中小企業診断士）

今日は私が現在取り組んでいる「自分改革」についてお話ししたいと思います。加齢とともに「今の自分に満足したら、そこで成長は止まってしまう」という危機感が強くなってきており、今は3つの挑戦を通じて自分磨きに励んでいます。

1つ目は15kgの減量に挑むことです。現在、私はライザップに通い、-15kgという高い目標を掲げて自分を追い込んでいます。筋トレと食事制限はなかなかの負荷ですが長い人生でたったの8週間我慢できなければ何も成し遂げることはできないので8週間どこまでいけるかチャレンジです。「健康は大事だ」と頭では分かっているけど、忙しさを言い訳に後回しにしてきました。しかし、経営や仕事で高いパフォーマンスを出し続けるためには身体が資本です。プロのトレーナーによる徹底した食事管理とトレーニングは、想像以上に過酷です。しかし、単なる減量ではなく「自己規律」と向き合い、甘えを断ち切り、決めたことをやり抜くのが今の自分には必要です。15kgという数字の先にあるのは軽やかな体だけでなく、自分をコントロールできているという確固たる自信だと信じて頑張ります。

2つ目はゴルフのスキルアップです。現在、スコア「90切り」を目標にしています。ゴルフを始めて13か月ですがやるからには中途半端ではなく、納得のいく技術を身に付けたいです。現在はスクールでのレッスンと打ちっぱなしを頑張っています。ゴルフは自分のメンタルがショットに影響され、ミスをした時にどう立て直すか、一打にどれだけ集中できるかが重要ですのでビジネスでの判断力や忍耐力にも通じるところがあると感じています。目標の90に一歩ずつ近づいていく過程そのものが、今の私にとって大きなリフレッシュであり、挑戦の楽しさを教えてくれます。

最後に3つ目ですが、これが最も奥深く難しい挑戦です。それは、子育てを通じた「人間力」の向上です。「親が子供を育てているのではなく、子供が親を育ててくれている」という意味は何となくイメージしていたのですが実際に子育てをすると全くその通りでした。子供の教育については学校や受験をイメージしてしまいがちですが、その前にどのような人間になってほしいか、どのような人生を歩んでほしいかということをもまずは設定し、受験や勉強が人生の目標にならないようにサポートしたいと考えています。その過程で私も様々なことを学び人間力を高めたいと思います。

15kg痩せた時、スコア90を切った時、そして子供の成長と共に自分自身も一回り大きくなれた時どんな気持ちになるのかを楽しみに今日も少しずつ「自分磨き」の道を歩んでいこうと思います。



代表取締役 長尾 康行

⑥「『摩擦』を『推進力』に変えていく」 マネージャー 木戸 貴也（中小企業診断士）

新しい仕事の方針や進め方、革新的な手法を導入しようとする時、必ずと言っていいほど反発の声が上がります。特に長年続けてきた慣習を変えようとする時ほど、その抵抗は大きくなるものです。これは人間の自然な反応であり、ある意味で健全なことだと考えています。支援先の経営者の方々と対話をしていると、「反発されるのが怖くて新しい方針を打ち出せない」、「批判を受けることを考えると踏み切れない」という声をよく耳にします。確かに、誰も否定や反対意見を受けることは心地よいものではありません。しかし、十分なコンセンサスが取れている場合や、全員が完全に共通認識を持っているテーマでない限り、対立意見や反発があっても当然ではないでしょうか。むしろ、何の反発もないとすれば、それは誰にとっても無難で、当たり障りがなく、現状を何も変えない、『その程度』の方針や手法である可能性が高いのです。

私は、対立意見が出たり、否定や批判が生まれたりするアイデアこそ、良いアイデアの一条件だと考えています。なぜなら、現状を打破するような方針や手法は、必然的に既存の価値観や慣習と衝突するからです。全員が即座に受け入れられるアイデアは一見魅力的ですが、効果が限定的で、変革をもたらす力に欠けているかもしれません。摩擦がなければ、タイヤは空転するだけで車は前に進みません。同様に、組織においても適度な摩擦、つまり『建設的な対立や議論』がなければ、真の前進は生まれないものです。

会社の節目などでは、このような場面に必ず直面します。新たな経営方針の策定、事業承継後の新経営者による方針転換、評価制度の見直しによる重視ポイントの変更など、これらはすべて、組織に変化を促す重要な機会です。反発や抵抗を「乗り越えるべき障害」ではなく、「前へ進むためのエネルギー源」として捉えることで、摩擦は推進力に変えることができます。抵抗力さえも、適切に方向づければ、より良い会社へと向かう原動力になるものです。

実際、経営方針を策定・発表された方や、年度方針・アクションプランを全社で実行された方からは、「また来年もやりたい！」という前向きな感想をいただきます。多くの方が初めは上手くいかず、浸透に苦労されています。しかし、粘り強く取り組み続けることで、当初の抵抗力が確かな推進力に変わり、会社が良くなることを体感されたのだと思います。



⑤ 「ドラゴンクエストから学ぶ組織論 ～そして伝説へ～」 ビジネスアナリスト 橋本 大治

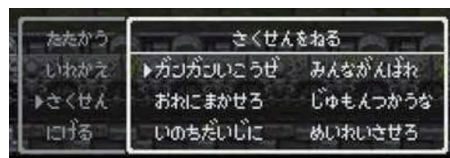
組織が大きくなるに連れて問題になるのが「人」の問題ですね。人や組織に関する学術はたくさんありますが小難しいものが多いですね。

先日、ドラゴンクエストを久しぶりにプレイしている時に感覚的に組織人事の重要性を学ぶことができましたのでお話をさせていただきます。

ドラゴンクエストでは戦闘時に味方に対して作戦を設定します。

「めいれいさせろ」「ガンガンいこうぜ」「いのちだいじに」「じゅもんつかうな」など、様々ありますが僕は基本的に「めいれいさせろ」でプレイすることが多かったです。「めいれいさせろ」は全ての指示を自分で指定する設定で、その他は指示の方向性に沿ってキャラが自動で行動します（「ガンガンいこうぜ」の場合は攻撃を最優先など）。熱中していた子供の頃は「めいれいさせろ」でプレイしていましたが、久しぶりにプレイをする（ちなみにドラクエ9をしました）と都度、技を選択するのが面倒になり集中力の衰えを感じながら当時は全く使用しなかった「ガンガンいこうぜ」を使ってみました。すると本来、攻撃が得意ではないキャラ（僧侶）が攻撃に参加し、回復の役目を果たさないため、状況が悪化することがしばしば発生しました。実際の組織でも全社員に「めいれいさせろ」で行動することは不可能なため、無駄なターン消費やむしろ、マイナスの状況を発生させることがありますよね。

一方でドラクエ9では【転職】があり、キャラの職業（適性）を変えることが出来ます。このため、キャラを入れ替えることや転職を行い、適性を変えることで「ガンガンいこうぜ」でも機能するようになりました。「組織は戦略に従う」という言葉がありますがドラクエを通じて、今の企業の作戦を鑑みて自身の立ち振る舞いや伸ばすスキルを見直してみる選択肢もあると学びました。また、必要に応じて配置転換を行い、本人が最大限活躍出来る作戦や体制を作ることも重要だと学びました。



⑥ 「40cmの決断と気持ちの切り替え」 ビジネスアナリスト 田邊 綿華奈

髪は、昔から“俗世”や“煩惱”と自分自身をつなぐものだと言われています。思い悩んだとき、何かを変えたいとき、人はよく「髪を切る」という選択をします。私も今回、約40センチをカットし、10年ぶりにショートカットにしました。長く伸ばしていた理由は、食品業界で働いていたとき、毎日ネット帽を被る必要があり、髪をまとめやすいようにしていたからです。特に深いこだわりがあったわけではなく、なんとなく「長いのが普通」になっていました。

そんな私が髪を切ろうと思ったきっかけは、社会人8年目にして、飲食業界から離れたこと。そして、いろんな感情が詰まった長い髪を、新年の節目で断ち切りたくなったことでした。

いざ美容室の椅子に座り、耳の後ろからバツサリ切ったときは「え、そんな勢いよくいく?!」と、ちょっと驚きました。

でも、切ってみると、首まわりの軽さ、シャンプーの早さ、髪を乾かす時間の短さにびっくり。

さらに、ロングのときより「こっちの方が似合ってる!」と言ってもらえることも多く、なにより、無意識に枝毛を探すような無駄な行動が自然と減ったことに、自分でも驚いています。

今回、思い切り髪を切り、それを周囲が受け入れてくれたことで、変化に対する恐れや執着が和らいだ気がします。

ほんの少し外見を変えるだけで、思考や感情の流れが変わることもある、今回の体験を通して、そんなことを改めて実感しました。

これからも、“変わること”を怖がらずに色々なことを楽しめる自分でいたいと思います。



⑦ 「定期的にホームセンターへ行く理由」 ビジネスアナリスト 平石 優希

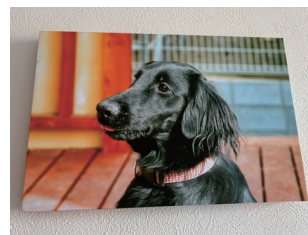
私は、2週間に1度ペースで近所のホームセンターへ行きます。

理由はペットコーナーがあるからです…!

幼い頃から実家で、犬を飼っていました。日頃の散歩も、旅行に行くときもずっと一緒に過ごしていました。

犬種は「フラットコーテッド・レトリバー」というなんとも聞きなじみのない犬です。見かけたことがある方も少ないと思います。近所のホームセンターのペットコーナーでも見かけたことはないのですが、どんな犬種でも可愛く思うのでホームセンターに滞在する時間が癒となっています。

癒があれば、疲れた時やしんどい時でも回復できます。



⑤「ビジョナリーカンパニー」 ビジネスアナリスト 湊 光基

今回は読んだ本ご紹介シリーズ。名著『ビジョナリー・カンパニー』についてです。「ビジョナリー・カンパニー」は直訳すれば「ビジョンを持つ会社」を意味します。本著では設立後、半世紀以上を経過してなお、現代でも世界中の尊敬を集める偉大な企業を調査し、その特徴を分析してまとめています。



「ビジョナリー・カンパニー」の中では、「カリスマ経営者の存在」や「利益至上主義」といった、目に見えて存在するものや定量的な数字による評価を否定しています。一方で私が興味深かったのは「基本理念を維持する」「カルト的企業文化」といった目には見えない要素が、その「偉大な企業」であるために重要だということでした。これは、理念（企業の存在意義）に基づいた風土・文化を作り上げ、働く人々が信仰に近い情熱をもって行動することで偉大な企業が生み出されるということです。理念という確固たる「軸」があるからこそ、働く人々は迷うことなく、同じ方向を向いて突き進むことができます。普段、事業者様の支援に携わる中では数値や計画策定を行うことが多くありますが、根底にある理念や目に見えない文化を理解することを大切にしたいと考えています。

⑥「素晴らしいものづくりとの出会いを求めて」 ビジネスアナリスト 土屋 結衣

昨年末のお話になりますが、藤井寺市の道明寺天満宮「手づくりの市」へ遊びに行きました。パンやお菓子、陶器や洋服など、文字どおり「手づくり」のものだけが集まる市です。ひとつひとつ心を込めて作られたクラフト作品や、ほっと一息つけるような美味しい食べ物、そしてそれらを生み出す作り手の方々との交流を通じて心も体もあたたかくなった一日でした。



私はこの類の市やマルシェが好きでよく行くのですが、その理由のひとつは、何日経っても忘れられないほど感動的なものづくりとの出会いが潜んでいるからです。

その中でも、個人的にイチオシの作り手さんをご紹介します。

奈良県の吉野でこんにゃくを製造・販売をされている「工房 やぶせ」さん。吉野本葛を使用するなど素材にこだわり、昔ながらの手練りの製法を大切にされています。

私は数年前にとあるイベントでこちらのこんにゃくに会い、その美味しさの虜になっています。きめ細やかで心地よい弾力、味染みがよく、丁寧に作られていることが口に入れた瞬間に伝わってきます。

手づくりの市にも出店されており、会場に着いてすぐにひとつ、帰り際にもうひとつおかわりをしました。濃いめのお出汁でじっくりと炊きあげられたこんにゃくを寒空の下でほおばり、なんとも言えない幸せな気持ちになりました。

このニュースレターを読んで、同じ感動を味わってくださる方がひとりでもいらっしゃれば嬉しいです。関西を中心に様々なイベントに出店されているので、（オンラインショップもあります！）ぜひ機会があれば一度召し上がってみてください。

⑦「視点が変わると、感じ方も変わる」 ビジネスアナリスト 近藤 司

私は高所が苦手です。マンションの6階ぐらいでも、ベランダから下をのぞくと足がすくむほどで、高い場所は避けてきました。

そんな私が、先日大分県にある日本一の高さがある九重“夢”大吊橋を渡る機会がありました。長さは390m、高さは173m。しかもこの日は風も強く、橋の上では体感的に余計に高く感じます。大人としてどうかと思いつつ、子どもに手を引いてもらいながらの挑戦でした。

片道は、涙目になりながら地獄のような感覚で、足がすくみ、風にあおられ、必死で、やっとの思いで渡りきれました。とにかく下を見ず、視線はまっすぐ。心の中では覚悟を決めながら腰を引き一步一步進んでおりました。片道が終わり、帰り道に入りました。帰りは少しずつ慣れ、普通に歩けるようになっていきました。

その途中で、風の中でも橋の上に立ち続ける警備の方の姿が目に入りました。「ここで日常的に仕事をしている人がいる」そう思えた瞬間、「危険な場所ではない」という考えに変わりました。そのあとで、ふと視点を変えると大きな滝、広がる溪谷、季節の紅葉。同じ場所なのに、それまでとはまったく違う景色が目に入ってきたのです。

視点が変わると、感じ方も変わる。同じ場所、同じ状況でも、考え方ひとつで見える世界は変わり、思っていた以上に、悪くない一面が見えてくることもあることに気づきました。行き詰まったときこそ、視点を变える余白を大切にしていきたいですね。



⑤ 「何度目の正直か」 ビジネスアナリスト 秋定 皇輝

最近、ジムに通う習慣が定着してきました。この仕事はデスクワークが中心であり、気を抜くと食べ過ぎてしまい、すぐに体重が増えます。2年前と比較すると、約8kg減量しており、この状態を維持したいという思いからジムに通っています。運動だけでなく、食事面にも気を配るようになり、最近は低脂質・高タンパクを意識した料理を自炊するようになりました。仕事疲れの中ジムに行くなんて考えられなかったのですが、ジムに行く方が体調が整っているように感じられます。体が資本という話は何度かしてありますが、一時的になっていたんで今度こそ継続していきたいと思います。



⑤ 「思い出の景色までの5km」 ビジネスアナリスト 奥田 くるみ

先日の成人の日を含む三連休、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。私はというと、3連休ということもあり、実家のある徳島の方に帰省しておりました。皆さんは、徳島県には『吉野川』という一級河川があるのをご存じでしょうか？吉野川は四国三郎とも呼ばれる大河川で、その河口は日本一の川幅を誇るのですが、私が中学・高校時代に通学路として何度も自転車でその橋『四国三郎大橋』を渡った思い出深い川でもあります。

実は私は、帰省するたびに「実家から四国三郎大橋まで走りきる」ことを密かな目標にしています。距離にすると片道約5km。今回の帰省でも、そのコースに挑戦し、なんとか無事に走りきることができました。

走り切ったといっても、途中で止まったり、歩いたりしながらではあるのですが、思い出の景色を見るために、絶対にたどり着くぞという思いでなんとか橋に到着し、綺麗な川面を眺めたときの達成感と嬉しさは、帰省ランでしか味わえない特別なものだなと、今回も改めて感じました。

走りながらふと考えたのは、たまには立ち止まったり、振り返ったり、歩いたりしていても、その足はきっと着実にゴールへ向かっているのだ、ということです。

今回の帰省ランでも改めてそんなことを実感したわけなのですが、せわしない毎日の中でつい自分に厳しくしすぎてしまいそうになっても、そんなときこそ少し立ち止まって自分の足跡に目を落とし、「意外と自分、頑張っているかも」と優しく声をかけてあげてもいいのかもしれない。そうやってまた胸を張って、次の一步を踏み出していければいいですね。この気持ちを忘れないようにしていきたいと思います。

最後に、四国三郎大橋から見た景色を載せておきます。

夜に走ったときに見えた景色もとても印象的だったので、あわせてご紹介します。

徳島にお越しの際は、ぜひ吉野川を望みに、四国三郎大橋を通ってみてはいかがでしょうか。

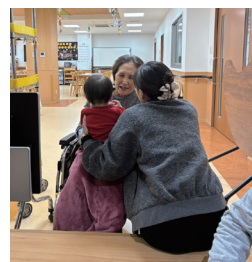


⑤ 「おばあちゃん孝行」 経理・総務 松野 あやか

以前のニュースレターで、「親孝行とは、緊急度は低いが重要度が高いもの」として、家族との時間の大切さについて書かせていただきました。その後も、継続して祖母との時間を重ねています。ICUで入院し、一時はどうなるのだろうと不安な日々を過ごした祖母ですが、現在は施設に入所し、毎週土曜日に顔を出すのが私の習慣になりました。最近の出来事を話すと、祖母は笑顔で耳を傾けてくれます。その表情を見るだけで、私の心も自然と落ち着き、「来てよかった」と感じる時間です。

また、施設の職員の方々ともお話しする機会が増え、皆さんがとても温かく、丁寧に祖母と向き合ってくださっていることを知りました。利用者の方が楽しめるよう、誕生日の特別なデザートやバーイベント、忘年会、書初めなど、さまざまなイベントが企画されており、祖母もそれを楽しみにしています。「この前はこんなことがあってな」と嬉しそうに話す祖母の姿を見るたびに、人との関わりや小さな楽しみが、日々の活力になるのだと改めて感じました。

祖母と過ごす時間は、そう長くはないと感じています。だからこそ、一回一回の時間を大切にしながら、これからも「おばあちゃん孝行」を続けていきたいと思います。



⑤ 「いい刺激をもらった特別ランチ」 営業事務 吉川 鈴夏

先日、ハトコが働いているお寿司屋さんへランチに行ってきました。

私には、同い年のハトコ（親同士がいとこ）がいます。彼は昔から料理が好きで、料理専門学校に進学し、フランスへ留学するなど、ずっと「食」の道を歩んできました。そんな彼が数年前からお寿司屋さんで板前として働き始め、最近では大阪・北新地のお寿司屋さんに移ったと聞き、これはぜひ行ってみたい！と思い、ランチに伺いました。目の前で次々と握ってくれるお寿司はどれも本当に美味しく、気づけば2時間近く食べ続けていました。

小さい頃は、親戚で集まるたびに身長を競ったり、なぜか相撲をとらされたり（笑）。同い年ということもあり、何かと競い合ってきた存在です。そんな彼が、カウンター越しに堂々とお寿司を握り、周りのお客さんにも気を配っている姿を見て、「大人になったなあ、」と、しみじみ感心してしまいました。

努力を重ね、好きなことを仕事にしている姿はとてまかつてよく、いい刺激をもらいました。また食べに来られるよう、私もがんばろうと思った時間でした。

写真は、ランチのメにいただいたそうめんです。のどぐろのチャーシューがとても美味しく、最後まで大満足でした！



⑥ 「百名店」 営業事務 造田 朋夏

皆様は、普段どのような方法で飲食店を探されていますか。私は、地図アプリやグルメサイト、SNSに掲載されている写真や口コミを参考にしながら、行ってみたいお店を選ぶことが多いのですが、正直なところお店選びはあまり得意ではありません。実際に足を運んでみると、事前に抱いていたイメージと違っていたり、あとから気になる口コミを目にしてしまったりと考えれば考えるほど難しさを感じてしまいます。

そんな中、最近参考になっているものが「百名店」です。百名店とは、グルメサイトなどで高い評価を得たお店の中から、特に支持されている店舗が選ばれたもので、飲食店に限らず、カフェやパン屋などジャンルごとに幅広い分野のお店が毎年更新されています。もちろん味の好みは人それぞれですが、多くの人に長く支持されているという点は、初めて訪れるお店を選ぶうえで大きな安心材料となり、百名店を参考にするようになってからはお店選びで大きく外すことがほとんどなくなりました。これまで百名店と聞くと、高級で予約が必要なお店というイメージを持っていましたが、実際には気軽に立ち寄れる価格帯のお店も多く、意外にも身近な場所に百名店に選ばれているお店があることを知り、新たな発見となりました。まだ数件しか訪れることはできていませんが、百名店は味だけではなく、接客や店内の雰囲気なども含めた総合的な評価であると感じています。

このような点は私たちの仕事に置き換えてみると、日々の積み重ねが最終的に信頼や評価につながることを改めて実感するきっかけとなりました。今年は百名店を巡りながら食を楽しんでいきたいと思います。



⑦ 「再会を通じて感じた、地元のあたたかさ」 営業事務 市位 桃花

私には、保育園からの幼馴染が4人います（そのうちの一人は、2025年12月号で紹介した幼馴染です）。その中の一人が、大学卒業後から海外で暮らしているのですが、VISAの関係で約3年ぶりに帰国することになり、久しぶりにみんなで集まることになりました。

小さい頃から何度もお世話になってきた友人の祖父母のお家で、たこ焼きパーティーをすることになり、買い出しのために地元で唯一あるショッピングセンターへ向かいました。すると、同級生や同級生のお父さん・お母さんに次々と遭遇しました。最後に会ったのは小学生の頃だったので、その場で恒例の名前当てクイズが始まり、近況報告や世間話で大盛り上がりしました。

おばあちゃんのお家に着くと、それぞれの性格を考慮した席決めが行われ、みんなでたこ焼きを囲みながら、ゆったりとした時間を過ごしました。

3年ぶりとは思えないほどの安定感と安心感があり、気がつけばあっという間に時間が過ぎていました。

今でもこうして全員で集まれる関係が続いていることに感謝しつつ、これからも大切にしていきたいと改めて感じました。今回の帰省で印象に残ったのは、地元のあたたかさです。道ですれ違ったり挨拶をしたり、近所の方と世間話をしたりと、「ああ、地元だな」と感じる場面がたくさんあり、少し懐かしくて、新鮮な気持ちになりました。友人の祖父母やお母さんから「また帰っておいでな」と声をかけてもらい、家族以外にもこうして迎えてくれる人がいる地元はやっぱりいいなと改めて感じました。



当社のサービス

経営顧問 経営改善 計画策定 新規融資
条件変更 事業再生（債権カット）
人事制度・研修 事業承継支援 補助金申請
計画認定支援

お問い合わせ



FLAGSHIP MANAGEMENT
株式会社フラッグシップ経営

☎ 0120-34-8776 ✉ info@flagship-keiei.co.jp

ホームページは
こちらから

